

至：登山口

GPSを頼りに修正

作業道を発見しトラバース

ルートミスに気づきながら、そのまま安易に進む。他人のレコで道が不明瞭という情報も先入観としてあり、ひどい斜面でも強引に降り続けた。その後GPSを見ながら登山道に復帰し事なきを得た。

仙元峠

1444

蕎麦粒山

1472.8

1167

1194

1155

900

「仙元峠からの下りの途中でルートミスに気づきながら、そのまま安易に進んでしまいました。当然自分の判断ミスですが、要因は他の人のレコで道が不明瞭という情報を得ていたことも心理的に影響しているかもしれません。多分こんな道なんだろうって先入観があって、ひどい斜面だ、と思いながらも強引に降り続けてしまい途中で引き返すことができなくなりました。その後GPSみながら登山道に復帰するしかなく、リスクの高いトラバースや尾根の急斜面を登りました。」（HP参照）

道迷いは、「ルートミスに気づきながらも、そのまま安易に進んでしまう」なぜか？と言われても「これが道迷いの心理」だから・・・。としか言いようがない。

地図アプリを持っていても「あれっ？おかしい」と思った時には見ない。「見てよ！」と思うのが見ない。「初期の道迷いの心理」は不思議だ。この不思議な行動が重なり、遭難へと繋がる。

くどいようだが、「あれっ？おかしい」と思った初期の行動。これがすべての分岐点である。